

## ◎情報教育センター

センター長 伊月 宣之

### 1. 平成16年度活動計画

情報教育センターとして教育改善のために次のような活動を行う。

#### 1. 1 ITを活用した新教育手法の導入推進のための各種講習会の実施

平成15年度に引き続きITを活用した新教育手法の導入推進のための各種講習会の実施を行う。

講習会としては次の4つを計画している。

##### [1] プレゼンテーションソフト講習会

実施できなかった。平成17年5月にNPO団体インターネット・ラーニングアカデミー (ILA) と共催で愛媛県の小中高の教員を対象としたプレゼンテーションソフトウェア講習会を企画しており、そちらでより高度な内容で実施することを計画している。

##### [2] HTML 作成講習会

実施できなかった。

##### [3] LabVIEW 利用講習会

初級編として、どんなことができるのかという説明と、ノートPC を用いた簡単な実習を行なった。参加者は15 名程度であった。

##### [4] 専攻科 AV 教室利用講習会

実施日 2004.10.5 13:30～

従来の機器の使い方に加えて、新しく導入したPC の利用方法、トラブルシューティングについて説明を行なった。

参加者は10 名程度であった。

#### 1. 2 遠隔教育用プラットフォームの活用の検討

遠隔教育用プラットフォームソフト (eXCampus、WebCT 等) を本校における自学自習のために活用できるかについて検討を行う。

3 つのプラットフォームについて検討を行なった。

- A. eXCampus (メディア教育開発センターが開発したフリーソフト) は機能が少なく、自学自習用には使いにくかった。
- B. WebCT (WebCT 社) は、長岡技術科学大学のものを利用させて頂き、現在 e-learning 講義を作成するために利用している。機能は多いが、授業設計が難しい点と価格の面から本校に導入することは困難かつ有用性は低いと思われる。WebClass (WebClass 社) 価格面から高専が導入できるプラットフォームのひとつと思われる。現在高専IT 教育コンソーシアムでWebClass の機能改良をおこなうプロジェクトが始まろうとしている。本校でも採用する

とすればこのWebClass が有力な候補の一つだと思われる。新居浜高専としても機能改良に積極的に係わって行く予定である。

- C. その他として、別のフリーなプラットフォームがあり、長岡技術科学大学が利用する準備をしている。こちらの情報については今後集める予定である。

#### ○総括的な評価と課題

本年度1年間を通して見たとき、講習会については予定通り進んでいる。遠隔教育用プラットフォームの活用については、本校で活用できると思われるソフトウェアについて検討でき、導入の見通しがついた。来年度はその導入に向けて検討し、e-learning 教育に大いに活用できる環境を整え、また教員に対する啓発活動を推進していきたいと思っている。

電気情報工学科情報処理室のパソコンの機種更新が実現し、高性能のパソコンが導入されたので、来年度はこれらを中心としたより高度な情報教育の改善・推進を図っていく予定である。

また、事務処理システム推進部門で、緊急連絡用携帯 Web の構築について検討が加えられ、構築に向けて前進している。